



5/28の全体練習…一番良い季節になりました。

■6月の予定表をお送りします。

梅雨に入りましたが、例年、雨で中止になるのは意外と少なく1~2回のケースが多いように思います。またオムニコートは水が浮くまで、相当雨が降っても使えます。(ただしボールがダメになってしまって、やはり降雨の場合は中止させていただきますが…。)

コロナも次の段階に入りましたが、なくなつたわけではなく、今も陽性になったという話は聞きます。また、季節外れのインフルエンザが流行したり、はしかが流行りかけたり、新たな感染症の対策も必要な感じです。基本的にマスクの着用は、外では必要ないと思われますが、中高生を見ていると、電車通学の生徒はまだほとんど生徒がマスク着用で登校してきます。

「必ず**する」というよりは、マスクに限らずTP0によって適切に対応していただければと、思います。

■サマージュニアに向けて

ジュニアテニスの業界では、この8月のサマージュニアが、カテゴリーの始まりになります。13, 15, 17歳の奇数年齢の区分ですが、そのまま来年の14, 16, 18の全日本ジュニア(その一番最初の予選が京都ジュニア。)の区分につながります。そういう意味で、このサマージュニアはその年齢区分の最初のポイントになりますので、何とかがんばって欲しいものです。

■本格的な暑さと紫外線に注意!!



練習には多めのドリンク(できればスポーツドリンク)、帽子、タオルをお忘れなく!熱中症にも注意をはじめましょう。

■インターハイ

テニスの豆知識 81

久しぶりに高校生のインターハイ予戦、団体決勝戦を見せてもらいました。京都府の高校生のトップ選手たちのがんばりに、感動しました。

久しぶりに見たトップ選手たちはやはり、技術的には相当高いものがあり、昔と比べると比較になりません。会場には、たまたま高体連の昔からの仲間がたくさん来ておりましたが、「みんな上手いねえ。」と感心するばかりで…。私が監督兼コーチでたまたまインターハイに行けた、30年ほど昔は、バックハンドは全部スライスの男子とか、中ロブみたいなストロークだけで勝つ女子とかがいた時代です。

ひところのような、「ひたすらつなぐ。」みたいな選手は見なくなつて、みんな強烈に攻撃的なプレーをしていたのが見えていても気持ち良かったです。道具の進化もあり、フィジカルのトレーニングも一般的になってきたせいもあるでしょうが、特に女子の進化が大きいと感じました。今回3冠の同志社国際の選手達は、見えていても女子大生かと思うような身体と、プレーで、本校の選手が中学生のように感じてしまいました。

それでも、団体戦(ダブルス1本、シングルス2本)では、個人戦とは異なるプレッシャーは大きいようで、どの学校の選手も、負けて号泣したり、勝つて子供のような安堵の表情を浮かべたり、トップ選手ではあるものの、ジュニアらしい表情が見られて、少し安心しました。

■今後の試合やイベント・サマージュニア8/1~ *中学生は京都府の総体が7/16~に実施されます。

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ (京都共栄学園内)

620-0933 福知山市篠尾62-5 tel.0773-22-6241 <http://www.fjtc.jp>
代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail : info@kyoei.ed.jp

